

令和元年度後期 答案用紙 (1枚中1枚目)

(注意) 1. 専攻・学番・氏名を必ず記入する。

2. 答案は、成否にかかわらず持ち出してはならない。

神戸大学医学部保健学科

授業科目	公衆衛生学		担当教員	中澤 港	試験日	令和2年2月3日(月)3時限		
専攻	看護学専攻	学番		氏名	解答例	採点		

問1(30問×2点)

(1) 生物統計学	(2) 有病割合(有病率も○,有病者割合,有病者率△)	(3) PHEIC (PHIEC△)	(4) 国民生活基礎	(5) 自覚症状【難】
(6) 罹患率差【難】(超過危険△,リスク差△)	(7) 高齢者医療確保法	(8) 全国がん登録(がん登録,地域がん登録△,全国がん登録制度○)	(9) がん登録推進法	(10) 国民皆保険
(11) 国民健康保険	(12) 自立	(13) 地域包括ケア(地域包括支援も○)	(14) ソーシャル・キャピタル(社会関連資本,社会関係資本も○)	(15) TFR
(16) 食品表示法	(17) 消費者庁	(18) 差別や偏見(「偏見や差別」「差別と偏見」「差別」など△)	(19) 毒キノコ(キノコでも○)	(20) 2.4【難】
(21) 技能実習生【難】	(22) ベンゼン	(23) 健康管理	(24) 気分障害(うつも可)	(25) 検疫
(26) B	(27) インフルエンザ(インフルエンザ菌は×)	(28) 潜伏期間(潜伏期も○,不顕性感染は△)	(29) 騒音	(30) 循環型社会形成推進基本法(一部抜け△)

問2.(10問×2点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
e	c	c	e	a	e	e	e	d	d

(1)ブドウ糖果糖液糖は添加物でなく食品扱い (2)2名の精神保健指定医の判断で可能なのは、都道府県知事の権限による措置入院 (3) $(18/(50-18))/(6/(102-6))=9$  (6)5つの鍵のうち1つは「清潔に保つ」(7)目標量は、日本における実行可能性も加味した当面の目標値 (8)腸管出血性大腸菌感染症は3類 (10)労基署は各都道府県数カ所存在する

問3. (20点:採点基準は、説得力があることが第一です。ただし事実認識の明らかな誤りは減点します)

[1] バイアスとは系統的な偏りをいう。大別すると、調査対象となる標本が母集団を正しく代表していないことによって起こる選択バイアスと、標本からデータを得る際に生じる情報バイアスに分かれる。注目している原因と結果の関係がそれ以外の要因によって歪んでしまう交絡も、交絡バイアスと呼ばれることがある。選択バイアスには逸話的情報や健康労働者効果など、情報バイアスにはリコールバイアスや追跡の偏りなどが含まれる。

[2] UHCとは全ての人々が適切な予防、治療、リハビリ等の保健医療サービスを、必要な時に支払い可能な費用で受けられる状態、という概念である。予防やリハビリが相対的に軽視されているため、社会復帰を含めた社会環境整備への努力が不足している点が大きな問題であり、本当に70億人以上の人に対してUHCを提供しようとしたら地球上の資源では足りないという問題が起きる可能性がある。

[3] 病原体の区分はバイオテロ対策や病原体の適正な取り扱いを徹底することを目的としている。例えばエボラウイルスや天然痘ウイルスなど第1種病原体は、バイオテロに使われた場合に被害が甚大になる可能性があるため、所持や輸入や運搬が原則として禁止されている。感染症の区分は患者の適切な治療と蔓延防止を目的としている。ペスト菌は所持等が禁止ではなく許可が必要な第2種病原体だが、それによって起こるペストはエボラウイルス感染症と同じく致命割合が高く、蔓延防止のためには隔離や強制入院を必要とするため、1類感染症となっている。以上述べたように、区分の目的が異なるため。

[4]には決まった正解はありません。